

Profile プロフィール



深浦康市

ふかうら・こういち
昭和47年2月生まれ
佐世保市万徳町出身
師匠 故花村元司九段
平成 3年 プロ入り(四段)
平成19年 羽生善治王位に挑戦し、4勝3敗。
35歳で初タイトル獲得。九州出身棋士
では昭和59年の加藤一二三氏以来23年
ぶり。県民表彰特別賞受賞

平成20年 王位の初防衛戦で4勝3敗で羽
生氏を制し2連覇を果たす。九段昇段。
史上39人目となる通算600勝を達成。
600勝達成時の勝率6割8分1厘は羽生善
治氏など3人の永世名人に次ぐ歴代4位
の記録。
※年に数回、市民を対象に将棋教室を開催。
※サッカー好きで、日本将棋連盟サッカー
部初代部長を務める。



溝上知親

みぞかみ・ともちか
昭和52年6月生まれ
佐世保市竹辺町出身
師事 菊池康郎氏(緑星囲碁学園)
平成元年 全国少年少女囲碁大会優勝
平成 5年 プロ入り(初段)
平成13年 NEC俊英トーナメント戦優勝、
棋聖戦リーグ入り
平成14年 新鋭トーナメント戦優勝、名人
戦リーグ入り
平成16年 新人王戦優勝
平成17年 八段昇段
平成19年 本因坊戦リーグ入り
平成20年 通算500勝達成
※平成18年に加藤啓子女流最強位と結婚
※愛宕祭りのときに市民を対象に囲碁教
室を開催。

市長 すごくですね。
溝上 将棋でプロになるのは
四段からですけど、囲碁は初
段からプロになれるんです。
でも囲碁では五段にならない
と認められないんで、五段に
なるまでは修業だということ
で、ずっと内弟子のまま生活
していました。一人暮らしも
して見たかったですけどね。

きつかけ

一日15時間の将棋漬け

19歳でプロに(深浦)

市長 お二人とも非常に小さいころから
囲碁、将棋をなさっていると聞きして
いますが、どのようなきつかけで始めら
れたんですか？

深浦 わたしの場合は、小学校一年生の
ときに父から教わりました。わたしはす
ごくおとなしい性格で、父が何かで自信
をつけさせようと、たまたま知っていた
将棋を教えてくださいました。それから
めり込みましたね。駒がたくさんあって
面白い動きをするし、少しずつ勉強しな
がらやったら、大人相手でも勝てるわけ
ですよ。面白いゲームだなと思って
やっていました。

市長 お父さんにはどれくらいで勝てる
ようになったんですか？ 一月月くら
い？

深浦 もっと早かったと思います(笑)。
やはり本などを読み始めると、父にはす
く勝つようになりましたね。

市長 それでお父さんが指導者に紹介さ
れたんですか？

深浦 はい。ちょっと自信もつき始めて、
学校でやっても相手がいなくなってきたま
して、佐世保の街で将棋を教えてください
方を父と、父の友人が探してくれました。
それから本格的に始めて、いろんな
方に教えていただいて、一年半くらいで
佐世保でも上の方に、棋力でいいですよ

「佐世保市長杯囲碁・将棋フェスタ」で参加者と対局する
深浦康市王位(左)と溝上知親八段(右)



特集 ● 佐世保出身プロ棋士ふるさと座談会

深浦康市王位×溝上知親八段×朝長則男市長

弱冠12歳で修業のためにふるさとを離れ、現在、将棋界、囲碁界で活躍している二人のプロ
棋士。深浦康市王位(将棋)と溝上知親八段(囲碁)。
二人をはぐくんだ佐世保に将棋、囲碁の文化を根付かせようと、4月12日、「佐世保市長杯
囲碁・将棋フェスタ」がアルカスSASEBOで開催されました。初めて二人が揃うことになった
この日、朝長市長も駆け付け、三人によるふるさと座談会が実現しました。座談会で語られ
た佐世保への思い、市民の皆さんへのメッセージなどをお知らせします。

じゃないですか？

深浦 そうですね。周りを見ても、関東
や近畿の人たちが大部分で、わたしのよ
うに九州や北海道出身者は少なく、地
方出身者としてのハンテはあったと思
います。東京に出たときにどこに寝泊り
するか、とかも考えなくてはなりません
し。まだ小さかったので里心もあります
し、そういうことを克服する必要があ
りましたね。

六年生の一学期に決意

15歳でプロに(溝上)

市長 溝上八段はどのようなきつかけで
囲碁を始めたんですか？

溝上 ぼくは一人っ子だったということ
もあって、父がいるんなことをさせた
んです。ゲーム類は、まず麻雀を5歳のこ
ろに一番最初に覚えました。その後、将
棋を覚えて、いろんなゲームをやったん

ですけど、一番最後に囲碁を覚えました。
将棋は、うちの祖父が強くて何回やっ
ても負かされるので、あんまり面白くな
かったんですね(笑)。王様を取られて
ぼろぼろにされてしまいますし(笑)。囲
碁は負けたとしてもそんなに悔しくな
かったです。

その後、愛宕祭りでもたまたま野辺さん
というお世話役をされている方の目に留
まって、いろんなところに顔を出したり、
いろんな方に教えていただいたりするよ
うになりました。囲碁を覚えたのは小学
校二年生ころなんですけど、三年生のこ
ろ、まだアマ2、3段のときに子どもの
大会の県代表になりました。三年生から
四年間全国大会に出ている間に東京で今
の師匠である菊池康郎さんと縁ができて、
プロの世界があることを知ったんです。
佐世保にいて全然現実感がなかったん
ですけど、大会に行くたびに同じような
歳でプロを目指している子どもがたくさん

いることを知り、意識し始めるよう
になりました。六年生の一学期が終わるこ
ろに、「勉強に来るなら早い方がいいから
決断したらどうだ」と今の師匠に言われ
まして、それでプロを目指すことを決意
したんです。

市長 中学校から上京したんですか？

溝上 小学校六年生の一学期が終わって
から転校して行きました。師匠が中学校
まで待ってくれなかったんです。

市長 一人暮らしだったんですか？

溝上 師匠のもとに住み込みの内弟子と
いう形でした。

市長 そういう方は何人もいらっしゃ
ったんですか？

溝上 当時はぼくが初めてで、関東の方
に親類が全くなかったもので、特例で
泊めていただきました。その後、中学校
三年生でプロになりました。

市長 15歳でプロですか？

溝上 囲碁で15歳は割と標準的で、11歳
とか9歳って人もいますよ。
す。

市長 すごくですね。

溝上 将棋でプロになるのは

四段からですけど、囲碁は初

段からプロになれるんです。

でも囲碁では五段にならない

と認められないんで、五段に

なるまでは修業だということ

で、ずっと内弟子のまま生活

していました。一人暮らしも

して見たかったですけどね。